

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公開番号】特開2001-332998(P2001-332998A)

【公開日】平成13年11月30日(2001.11.30)

【出願番号】特願2001-31684(P2001-31684)

【国際特許分類】

H 04 B	1/707	(2006.01)
H 04 L	7/00	(2006.01)
H 04 B	7/26	(2006.01)

【F I】

H 04 J	13/00	D
H 04 L	7/00	C
H 04 B	7/26	N

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月6日(2008.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】送信装置から複数の伝搬路を経て受信する複数の信号の同期を周期的に捕捉する捕捉部と、前記捕捉部によって前記同期捕捉された複数の信号のうちの一つをそれぞれが追従する複数の追従部とを含むスペクトラム拡散通信システムのための受信装置であって、

前記各追従部が現時点で追従している信号の現在の伝搬状況及び該信号の過去の伝搬状況の良否を判断する判断部と、

前記判断部によって判断された前記信号の現在の伝搬状況及び該信号の過去の伝搬状況の良否に基づき、前記捕捉部によって現時点で捕捉された前記複数の信号のうち所定数の信号を選択する選択部を有し、

前記複数の追従部は、前記選択部によって選択された前記所定数の信号を追従することを特徴とする受信装置。

【請求項2】前記判断部は、前記追従部が同期追従している前記信号と前記捕捉部が同期捕捉した前記信号とが一致するとき、該信号の現在の伝搬状況が良好であると判断することを特徴とする請求項1記載の受信装置。

【請求項3】前記判断部は、前記追従部が同期追従している前記信号が過去に複数回同期捕捉されているとき、該信号の過去の伝搬状況が良好であったと判断することを特徴とする請求項1記載の受信装置。

【請求項4】前記選択部は、前記追従部が同期追従している前記所定数の信号のそれぞれが前記捕捉部が捕捉した複数の信号のうちのいずれにも該当しないとき、前記所定数の信号の過去の伝搬状況に基づき、前記所定数の信号のうち少なくとも一つの信号の同期追従を継続することを前記追従部に許可することを特徴とする請求項1記載の受信装置。

【請求項5】前記選択部は、前記所定数の信号のうち過去の伝搬状況が最良である信号の同期追従を継続することを前記追従部に許可することを特徴とする請求項4記載の受信装置。

【請求項6】前記選択部は、前記所定数の信号の過去の伝搬状況が互いに同一であ

るとき、該所定数の信号の電力値に基づき、該所定数の信号のうちの一つの同期追従を継続することを前記追従部に許可することを特徴とする請求項4記載の受信装置。

【請求項7】送信装置から複数の伝搬路を経て受信する複数の信号の同期を周期的に捕捉する捕捉部と、

前記捕捉部によって捕捉された信号のそれぞれの同期を追従する複数の追従部とを含み、

前記複数の追従部のそれぞれが同期追従している全ての信号及び前記捕捉部が新規に同期の捕捉をした全ての信号で一致する信号が無いときに、前記複数の追従部の何れかの追従部に該追従部が同期追従している信号の同期追従を継続させ、他の追従部に、前記新規に同期捕捉をした信号の同期追従を開始させることを特徴とするスペクトラム拡散通信システムのための受信装置。

【請求項8】送信装置から複数の伝搬路を経て受信する複数の信号の同期を周期的に捕捉する捕捉部と、前記捕捉部によって前記同期捕捉された複数の信号を追従する複数の追従部とを含むスペクトラム拡散通信システムのための受信装置の制御方法であって、

前記各追従部が現時点で追従している信号の現在の伝搬状況及び該信号の過去の伝搬状況の良否に基づき、前記捕捉部によって現時点で捕捉された前記複数の信号のうち所定数の信号を、前記複数の追従部に追従させることを特徴とする受信装置の制御方法。

【請求項9】送信装置から複数の伝搬路を経て受信する複数の信号の同期を周期的に捕捉する捕捉部と、前記捕捉部によって捕捉された複数の信号の同期を追従する複数の追従部とを有するスペクトラム拡散通信システムのための受信装置の制御方法であって、

前記複数の追従部のそれぞれが同期追従している全ての信号及び前記捕捉部が新規に同期の捕捉をした全ての信号で一致する信号が無いときに、前記複数の追従部の何れかの追従部に該追従部が同期追従している信号の同期追従を継続させ、他の追従部に、前記新規に同期捕捉をした信号の同期追従を開始させることを特徴とする制御方法。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

### 【0004】

#### 【課題を解決するための手段】

本発明に係る受信装置は、送信装置から複数の伝搬路を経て受信する複数の信号の同期を周期的に捕捉する捕捉部と、前記捕捉部によって前記同期捕捉された複数の信号のうちの一つをそれぞれが追従する複数の追従部とを含むスペクトラム拡散通信システムのための受信装置であって、前記各追従部が現時点で追従している信号の現在の伝搬状況及び該信号の過去の伝搬状況の良否を判断する判断部と、前記判断部によって判断された前記信号の現在の伝搬状況及び該信号の過去の伝搬状況の良否に基づき、前記捕捉部によって現時点で捕捉された前記複数の信号のうち所定数の信号を選択する選択部を有し、前記複数の追従部は、前記選択部によって選択された前記所定数の信号を追従することを特徴とする。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

### 【0011】

本発明に係る受信装置は、送信装置から複数の伝搬路を経て受信する複数の信号の同期を周期的に捕捉する捕捉部と、前記捕捉部によって捕捉された信号のそれぞれの同期を追従する複数の追従部とを含み、前記複数の追従部のそれぞれが同期追従している全ての信号及び前記捕捉部が新規に同期の捕捉をした全ての信号で一致する信号が無いときに、前

記複数の追従部の何れかの追従部に該追従部が同期追従している信号の同期追従を継続させ、他の追従部に、前記新規に同期捕捉をした信号の同期追従を開始させることを特徴とする。